

甲府伊勢講四十周年にあたって

甲府伊勢講 講元 今橋 保

三月二十七日(日)午後三時より、穏やかな晴天の中、稲積神社で甲府伊勢講千社詣四十周年記念事業の奉告祭、除幕式そして記念式典が、六十名以上の方々のご参列を賜り、厳肅かつ盛大に行われました。これも一重に、準備にお力添えいただいた関係各位のご協力とご出席を賜りました皆様方のご協力の賜と心より感謝を申し上げます。特に、亡くなられた歴代役員のご家族にもご臨席を賜り、伊勢講四十年の歴史の奥深さに花を添えていただきましたことに、心よりお礼を申し上げます。また、故人のご冥福をお祈り申し上げます。

参加した人にも優しい包容力のある千社詣の旅だからだと思えます。

先日、テレビでドイツ人の曹洞宗の坊さんが話をしていました。『日本人は、小さい頃は七五三等で神教、結婚式はキリスト教、葬式は仏教と、色々な宗教と上手に付き合っている融合性のある国民だと思えます。しかし、それらは従であり主ではありません。中心になる宗教を持つていない国民だ。』と話していました。伊勢講の千社詣の旅は楽しい旅行だけれど、神社崇拜という中心があるからこそ、参加者の共感を得て四十年間続いてきたのだと思いを強くしました。

甲府伊勢講は昭和四十年伊勢神宮の参拝を初めとして、初代講元野沢正太郎さん、二代目講元丹沢正臣さん、そして三代目の私で四十年。これだけ長い間続いてきたのは、世話人の方々のたゆまない努力。世話人が中心になって、それぞれ参加者を集めて世話をするというシステム。そして、参加者が旅行上手で、初めて

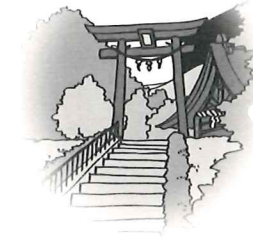
しかし、四十年は通過点であり、ゴールではありません。この四十年記念事業を起点にして、若い人たちも参加をする旅の企画をしたいと思えます。それにより、若い人たちが参加し、高齢化の進んだ伊勢講に世代の交代がなされて、さらに五十年、六十年と継続していければと思っています。

今年の千社詣の旅は、四十年を記念して、伊勢神宮、熊野の各神社と熊野古道の旅を計画しました。最初の計画は、十月二十一日(金)からフェリーにて那智勝浦に行き、それから各地を回る予定でした。残念ながら、今年六月でフェリーの航路が廃止されることになり、計画の変更をせざるを得なくなりました。新しい日程は十一月六日(日)〜八日(火)二泊三日の予定で、若干強行軍になるかと思いますが、

伊勢神宮、世界遺産熊野を旅する計画になりました。詳細は後日配布されますチラシをご参照いただき、大勢の方々のご参加をお願い致します。

稲積神社甲府伊勢講四十周年の歩み

甲府伊勢講 顧問 丹澤 正 臣



私が稲積神社へ初めていったのは、息子が一連寺幼稚園に入つて間もないころだったと思う。塩島先輩に連れて行かれたのを今も鮮明に覚えています。

何回か行っているうちに、同級生の野沢君のお父さんが神社へ来ており、宮司さんと二人で旅行を兼ねた伊勢参りの講を造るので入つてくれと薦められ、何分にも無信心の私ですが、子供ができて幼稚園へ入り段々といたずらも激しくなると、ピーボ、ピーボと

救急車の音が聞えると、もしやと気にかかるとき、つい心の中で手を合わせ無事を祈るようになり、私も年に一度ぐらいいは神参りをしても良いのではと世話人の端くれに入れていただいたのが始まりでした。

にはお座敷列車で三百人を超えるご参加を頂き、四十年という年月を重ね現在に至っているわけです。

この四十年を記念し、平成十七年三月二十七日、宮司様又、世話人の皆様の総意で稲積神社の境内へ石碑を建て後世に伝えるべく盛大に奉告祭を行いました。これからも十年二十年三十年と、ご参加をいただく皆様方に伊勢講の参拝旅行は楽しく良い旅行だといっていただけるよう、世話人一同努力いたす所存でございます。

また、当稲積神社も月の初めの月始祭には、その月の誕生日の方などに祝詞を上げお札をお頒かちしていますので多くの方々のご参拝をお待ちしております。

最後に皆様方のご多幸ご健勝とご家族の方々のいや業をお祈りするとともに稲積神社の益々のご隆盛をお祈り申し上げます。



甲府伊勢講千社詣 四十周年記念式典

去る三月二十七日(日)午後三時より、まず神殿に於て四十周年奉告祭が斎行され丹澤顧問をはじめ今橋講元、歴代の先達、正副講元、役員、御家族、神社外郭団体代表がそれぞれ玉串を奉り拝礼した。

次に境内神田表参道側に建立された記念碑の除幕式を行った。



会場を参集殿に移し式典が行われた。

式典は先ず、これまで伊勢講に関つた全ての物故者の方々の御冥福を祈り黙祷を捧げ、丹澤顧問が記念式典の実行委員長として挨拶、御自身の伊勢講に関わつた経緯を説明しながら今後も伊勢講が今橋講元を中心にもますます盛んにと期待をこめられた。次に先達



の根津宮司がこれまでに關つていただいた方々に感謝を申し上げ、次に今橋講元が挨拶別紙掲載)、小尾武責任役員の乾杯の発声で賑やかに懇親の会が始つた。

今回は神社職員総代、崇敬会、外郭団体の所謂内祝ということで行われたが、六十有余名の参加を戴き多いに盛り上がり楽しい時を過ごし、久保田副講元の中締めにて全ての記念式典を終了した。



案内 甲府伊勢講千社詣の集い

伊勢講四十周年記念の旅
伊勢神宮新穀感謝祭(内宮正式参拝)、熊野の各神社参拝と世界文化遺産熊野古道散策二泊三日の旅を企画いたしました。

伊勢講四十周年記念の旅に皆様お誘いあわせの上、多数のご参加をいただけますようご案内申し上げます。

旅行期間
平成十七年十一月六日(日)～八日(火)三日間

旅行代金
一人 五八、〇〇〇円

募集人員
お申し込みお問い合わせ先
伊勢講世話人 神社々務所

11/6(日)	甲府各地(中央高速・名古屋高速・東名阪自動車道・伊勢道) 朝× 伊勢神宮新穀感謝祭(内宮正式参拝・昼食) 昼○ 勢和多賀IC 尾鷲 熊野兜ヶ城 勝浦温泉(泊) 夜○
11/7(月)	勝浦温泉 那智大社・那智の滝・熊野古道・大門坂散策 朝○ 熊野連玉神社(自由参拝) わたらせ温泉(昼食・入浴) 昼○ 熊野本宮(正式参拝) 白浜温泉(泊) 夜○
11/8(火)	白浜温泉 千畳敷・三段壁 和歌山マリーナシティ黒潮市場(海の幸お買物) 大阪(昼食) 夜○ 甲府各地 夜×

交通機関並びに時刻は変更になる場合があります。
 □宿泊予定ホテル
 11/6(日) 勝浦温泉 浦島 (☎0735-52-1011)
 11/7(月) 紀州白浜温泉 むさし (☎0739-43-0634)

祭典行事歴 (五月～十一月)

毎月一日	月始祭
三日	月次祭
十五日	神恩感謝祭 古神札 焚上げ祭
五月二日	献木祭
三日	正ノ木大祭前夜祭
四日	正ノ木大祭 大祭特別祈願祭
五日	三ノ祭
六月第一日曜日	正ノ木大祭終了祭 お田植祭
七月十五日	夏越大祓 瘡子社例祭
八月	富士ヶ嶺開拓祭
十月十日	金刀比羅祭
十一月六日～八日	甲府伊勢講千社詣の旅
十一月二十三日	伊勢講四十周年記念、伊勢神宮、熊野各神社、世界遺産の熊野古道の旅 新嘗祭

賣方も雅楽を始めませんか

難しいものと思つてい
る方が多いが、決してそ
のような事はない。
意外と身近な音楽、雅
楽を賣方も始めませんか。

稽古日 毎週水曜日
午後五時から

稽古場所 神社参集殿

七五三詣レンタルバック

- ◆衣裳
- ◆ヘアメイク
- ◆着付
- ◆記念写真

を一度ご予約できます。
お参りのあと神社の外
におでかけできます。
ご予約専用フリーダイヤル
〇二二〇〇七三二一〇五

受付時間
午前十時～午後六時
担当 式典写真協会

稲積神社

命継ぐ食もの衣もの住むいへも
稲荷の神の恵みなりけり

甲府市太田町公園内鎮座
電話 (055) 233-5573
FAX (055) 226-0787